

## あと少し、もう少し

瀬尾 まいこ/著

新潮社 913.6セ

寄せ集めのメンバーと頼りない教師でのぞむ中学最後の駅伝。1区から6区まで、それぞれの走者が主人公となり襷（たすき）と物語をつなぎます。

それぞれ悩みや事情を抱える男子6人が、仲間を思いやりながら、お互いに影響を受けつつ成長していく姿が清々（すがすが）しい。



## アーデン城の宝物

E・ネズビット/著

東京創元社 933ネ

イギリスに住む姉弟の物語。ある日、弟がアーデン城の当主であることや、10歳前の当主だけが願いをかなえられるという伝説があると知ります。

不思議な白いモグラや魔女の助けを借りて過去へタイムトラベル！そこに伝説の宝物はあるのか？  
続編『ディッキーの幸運』も読むと楽しさ2倍！

## 宇宙に命はあるのか 人類が旅した一千億分の八

小野 雅裕/著

SBクリエイティブ 538オ

1969年7月20日。人類はじめて月面を歩いてから50年。宇宙については、どれくらいのことかわかっているのでしょうか？

これは、NASA日本人技術者が書いた宇宙探査の最前線の本です。アポロ計画、太陽系、地球外生命の存在。そして、宇宙人はいるのか？

## グーテンベルクのふしぎな機械



ジェイムズ・ランフォード/作

あすなろ書房 Eグ

印刷機ができるまでは、写本（しゃほん）という手書き作業で本は作られていました。それを進化させたのが、1450年頃にグーテンベルクが発明した活字印刷機です。

グーテンベルクは、それまで誰も見たことのなかった「ふしぎな機械」を、どのようにして作ったのでしょうか？もの作りが好きな人におすすめ。

## 活版印刷ってなに？

活版印刷がよくわかる3冊

活版印刷三日月堂

ほしお さなえ/著

ポプラ社 913.6ホ

川越にある昔ながらの活版印刷所「三日月堂」には、今日も悩みを抱えたお客さんがやってきます。

店主が小さな活字をひとつずつ拾（ひろ）い、並べ、ていねいに手作業で印刷するのは、誰かの忘れていた記憶や、伝えられなかった想い……。

## 本ができるまで

岩波書店編集部/編

岩波書店 02ホ



少し前に、アメリカの雑誌で「過去1000年の最も重要な出来事100選」が発表されました。その中で、第1位に選ばれたのがグーテンベルクの活版による聖書の印刷です。

グーテンベルクを含め多くの人たちが、どのように読みやすく美しく丈夫（じょうぶ）な本を作ってきたのか、本作りの歴史をたどります。